企業の成長を加速させる「産学連携」の新常識

～大学をビジネスの武器として“使い倒す”経営戦略～

「研究開発は“抱え込まない”。」
大学という巨大な外部リソースを使い倒し、
貴社の技術力とブランド力を劇的に引き上げます。

省エネ技術の事例を紹介

2026.5.28（木）15:00－17:30（受付14:30）

参加料 無料

プログラム（予定）※登壇者および講演テーマは予告なく変更になる場合があります。

15:00-15:10	**イントロダクション** 「南大阪REBORNコンソーシアム 産学連携分科会のご紹介」 日経南大阪REBORNコンソーシアム 産学官連携分科会 座長 大阪公立大学 スタートアップ創出・支援センター グループリーダー 吉國 聖乃氏
15:10-15:30	**基調講演** 企業の成長を加速させる「産学連携」の新常識 大阪公立大学 経営戦略プロデューサー 特任教授 北垣 和彦氏
15:30-16:00	**技術講演** 勘と経験から、根拠と実証へ -省エネ診断・EMSの判断支援フレームと実装- 大阪公立大学 大学院工学研究科 電気電子系専攻 工学部 電気電子システム工学科 准教授 高山 聡志氏
16:00-16:30	**事例紹介** 大阪公立大学の超小型チップ技術が生んだ、 製造業の省エネを支えるIoT電力センサの紹介と起業物語 株式会社SIRC 代表取締役CEO 高橋 真理子氏
16:30-17:30	**個別相談・交流会** 講演者及び大阪公立大学の産学連携担当者との個別相談・交流会 ※軽食を用意しております

会場 りそな銀行大阪本社 地下2階講堂
〒540-8610 大阪府大阪市中央区備後町2-2-1

応募締め切り 5月25日（月）

申し込みは
こちらから

日経南大阪REBORNコンソーシアム（主催：日本経済新聞社大阪本社）

【お問い合わせ先】event.kansai@nks.co.jp（土日祝のぞく　10:00～17:00）

企業の成長を加速させる「産学連携」の新常識

～大学をビジネスの武器として“使い倒す”経営戦略～

研究開発の人件費や専門人材の確保、次の一手となる新技術の不足にお悩みではありませんか？
本セミナーでは、**産学連携を「学術的な協力」としてではなく、企業の成長を加速させるための「ビジネス戦略」として“捉え直す新常識”を解説**します。
大阪公立大学 北垣特任教授からは”企業の成長を加速させる「産学連携」の新常識”というタイトルで、
産学連携の企業にとってのメリットを裏のメリットを含めて説明します。
「研究開発部門がない」「産学連携はハードルが高い」と感じている中堅・中小企業の皆様にこそ聞いていただきたい内容となっています。
更に近年では、産学連携は共創と呼ばれるプラットフォームによるオープンイノベーションの実現に軸足が置かれています。
そこで今回のセミナーでは、産学連携での”省エネ”のイノベーションを目指すコンソーシアム構想についても解説します。
省エネにおいて重要な電力実測について、大阪公立大学の超小型チップ技術が生んだ、
製造業の省エネを支えるIoT電力センサの紹介と起業物語を株式会社SIRC 高橋社長に語って頂きます。
更に大阪公立大学 高山准教授からは、勘と経験から、根拠と実証へ-省エネ診断・EMSの判断支援フレームと実装-について紹介して頂きます。
エネルギー高騰でお困りの多くの企業の皆様にとって有意義な内容となっています。

日経南大阪REBORNコンソーシアム 産学官連携分科会 座長
大阪公立大学 スタートアップ創出・支援センター グループリーダー 吉國 聖乃氏

大阪府出身。和歌山高専、奈良女子大学、同大学院を修了後、近畿大学の専任講師（助手）として研究・教育に従事。その後、エンジニアへの転身やフリーランス活動を経て、現在は大阪を拠点に大学発ベンチャーの「支援者」と「当事者」という2つの側面から尽力している。大阪公立大学スタートアップ創出・支援センターでは、研究成果の社会実装に向けて、研究者を伴奏支援。並行して、大阪ヒートクール株式会社の役員として実戦的な事業開発を牽引している。研究者としての知見と民間での開発経験を融合させ、アカデミアが生み出す技術の社会実装を最前線で加速させている。

大阪公立大学 経営戦略プロデューサー 特任教授 北垣 和彦氏

大阪大学工学部卒、パナソニックにて産業ロボット海外営業・半導体製造装置営業責任者等を歴任。半導体製造装置の社内ベンチャーを立ち上げた後、全社ロボットプロジェクトの事業企画や産学連携の責任者として、東大、京大、阪大、東北大との産学連携やJV設立に従事。
その後、大阪工業大学でシニアURAとして、イノベーション教育や大学発ベンチャー起業支援に携わり、大阪公立大学の発足とともに研究視点の大学経営戦略立案・実行に従事。

主な対外活動 NEDOロボット白書執筆メンバー、JST SCORE 大学推進型　プログラム共同代表等

大阪公立大学 大学院工学研究科 電気電子系専攻 工学部
電気電子システム工学科 准教授 高山 聡志氏

2011年3月北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了、博士（工学）取得。同年4月大阪府立大学大学院工学研究科助教に着任。19年4月同大学講師、22年4月大阪公立大学大学院工学研究科講師、25年4月同准教授、現在に至る。電力システムの運用・制御における最適化理論を専門とし、近年は電力市場運用および分散エネルギー資源の最適制御への機械学習・深層学習の応用にも積極的に取り組んでいる。これらの研究を通じて培った最適化および機械学習の知見を活かし、データ駆動型の省エネルギー診断手法の開発にも研究領域を展開している。

株式会社SIRC 代表取締役CEO 高橋 真理子氏

2006年12月米国Chatham大学卒業。10年4月にベンチャーを起業し国内外企業の海外新規事業展開を支援。12年5月文部科学省STARTプロジェクトにて、VCとして大学技術の事業化支援に従事。15年4月筑波大発ベンチャーの取締役としてアフリカ・南米における新規事業開拓を実施。15年2月（株）SIRC設立時より資金調達担当取締役、19年10月より同社代表取締役に就任。

申し込みは
こちらから

日経南大阪REBORNコンソーシアム（主催：日本経済新聞社大阪本社）

【お問い合わせ先】event.kansai@nks.co.jp（土日祝のぞく　10:00～17:00）